

包装機の進化は

ハナガタから!

NEW
高速巻きスリール包装機
HS-C051

包装機械、 オーダーメイドしませんか?

包装機械・シュリンクトンネル・包装ライン

株式会社 ハナガタ

3ホール
3E-09

本社・工場
東京営業所/ショールーム
大阪営業所/ショールーム
九州ショールーム

〒939-8033 富山県富山市横内417
TEL:076-425-1545

〒103-0024 東京都中央区日本橋小町1-2-7日本橋MMビル7F/1F
TEL:03-6904-8831

〒540-0034 大阪府大阪市中央区島町2-4-9豊島第2ビル7F/1F
TEL:06-6949-0888

〒812-0004 福岡県福岡市博多区横出2丁目2-52
TEL:092-472-4821

URL: <http://www.hanagata.co.jp> E-mail: sales@hanagata.co.jp

JPA大賞 表彰

29日17時半

併催企画「JAPAN PACK AWARDS (JPA) 2019表彰式」が29日17時半からオープニングレセプション内で行われる。17年の前回展以降に開発された出展製品を対象に、新規性、独創性、デザイン性、安全性、衛生性、省資源・省エネ性などを基準に大賞・優秀賞が贈られる（写真、前回の表彰式）。

候補製品の出展者は次の25社。イシダ、エムエスディ、エルコム、大森機械工業、オムロン、川島製作所、グローリー、光伸舎、コマツ製作所、システムスクエア、スズキマリン、ストラパック、東京自動機械製作所、東伸、東陽機械製作所（カナエ共同出品）、東洋自動機、トキワ工業、トタニ技研工業、なんつね、日本包装機械、富士インパルス、ホマツグジャパン、

JAPAN PACK 2017オープニングレセプション
JAPAN PACK AWARDS 2017表彰式



マスタックマシナリー、大和製衡、ユーキ。

JPA大賞・優秀賞の受賞企業ブースを巡る「JPA2019受賞企業ツアー」と、分野別の包装に携わる専門家が各出展者の製品・技術などを紹介する「包装専門家と巡る場内ツアー」を実施する。各ツアーは各回60分、先着20人で参加無料（登録サイトから事前申し込みが必要）。



JAPAN PACK 2019

アンリツが見守っています。

Products Quality Assurance



Anritsu envision: ensure

アンリツインフィビス株式会社

〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1
TEL (046) 296-6700 (代)

出展情報
JAPAN PACK 2019
10月29日～11月1日
7T-02



製品・ソリューション
はこちらから

協栄プリント技研

協栄プリント技研は1967年に創業したプレス金型の設計・製造を中心とした金型メーカー。半世紀以上にわたりエレクトロニクス業界で培ったプレス金型技術、超精密加工技術を駆使して、電子機器、自動車部品、包装・製袋品などさまざまな分野に注力し、常に最先端の技術の追い求めている。2013年にはJISQ9100を取得し、高い品質管理システムを構築。同社は高機能フィルムや樹脂などのさまざまな素材を打ち抜く精密プレス金型、フィルムインサート成形で使用される真空成形品を3次元形状にカットする金型、超音波ボーンを金型に組み込んだプレス金型、鏡面彫刻型、精密微細加工部品などを展示する。

花塚製作所

花塚製作所はステンレス製ポンプと定量充填機の専門メーカー。ステンレススロットポンプ「CFシリウス」は①低粘度から高粘度までの液体輸送に対応②接液部・駆動部の完全分離で「分解・洗浄・組み立て」が容易③独自のメカニカルシールを採用し衛生的④吐出量の変化が少なく、任意設定が可能⑤自吸式で騒音がない一特徴としている。

定量充填機は連続・間欠運転ともに安定した充填量で、量の変更も容易だ。液切れに優れた特殊ノズル装置は、充填液の粘度に合わせて選べる。手動から運動、寸動、リピータ運転まで、あらゆる運転サイクルに対応可能だ。

近畿刃物工業

近畿刃物工業は段ボール用刃物の専門メーカー。出展ブースでは紙器・フィルム加工用刃物や、個別ユーザーの要望に応じた開発したオリジナル刃物なども展示する。主力の段ボール用では、スロットター上刃「トラスカッター」などを紹介。従来の鋸刃形状を改良し刃先をシャープにしたもので、紙粉の発生を抑え、刃物の長寿命化も図った。

また「刃物交換の見える化」も提案。刃先摩耗部にミクロン単位の溝加工を施し、摩耗により溝が消えることで、ユーザーに刃物の取り換え時期を把握してもらう狙いだ。顧客の経験のみで判断していた刃物交換時期を可視化し、一目で認識できる。

アンリツインフィビス

アンリツインフィビスの総合品質管理・制御システム「QUICCA」は、複数の検査機器の測定データの記録や動作履歴を一元管理できることが特徴。

IoTの活用で品質や生産性を高めることを目的とした管理システムとなる。工場長や品質管理の担当者は検査機のコンベヤーのオンオフや製品カウンタ、NG数などの状況を過去からリアルタイムまで一瞥で把握できる。また、パソコンやタブレット端末の画面を使用者の役割に応じてアレンジでき、必要な情報を素早く確認できる。生産分析のリポートを作成すれば、効果的な生産改善につながる。簡単に低コストで導入できることも利点だ。

ハナガタ

包装機械メーカーのハナガタは「包装機械、オーダーメイドしませんか?」をタイトルに掲げ出展する。顧客のニーズは近年クロースアップされている「動き手不足」や「プラスチックゴミの問題」など、時流に合わせて変化し続けている。同社は変化し続けるニーズに対応できる幅広い包装機をラインアップして展示する。

今回「高速巻きスリール包装機」を初展示するほか「静電シール包装機」や「スリール包装機」「自動集積装置」など、時流を先取りしたバリエーションを紹介。

また、バイオマス原料を使用した包装フィルムを装着した包装機の実演も予定している。

シンク・ラボラトリー

シンク・ラボラトリーは水性インクジェットプリンター「EXEJ」の最新モデルを発表する。搭載ハードの1200dpi(1インチ当りのドット数)で従来より高精細な印刷品質となり、フィルム基材の送給制御の改善と合わせて高画質を維持する。同社の5色の水性インクはPET、OPPなど各種基材に対応し、グラビア印刷の小ロット需要をカバー。印刷速度は毎分40枚で、白無しなら毎分70枚程度の高速化も可能。印刷幅500mmと1000mmのモデルに加え、夜間の自動基材交換ができるターレット搭載型も選択できる。出力製品サンプルの展示に加え、本社工場とライブ中継し実働デモを予定する。

トワテクノ

トワテクノは食品機械・包装システムの開発・設計・製作を行つたトータルエンジニアリング企業。展示会には「環境に配慮した衛生的で知能的な食品機械装置・システムの提供」をテーマに、空中集積でカートン（紙パック飲料）をケース詰める装置「e-CASER」を出品する。一列に並んだカートンのトップ部をつかみ空中集積しながらケース詰める方式で、バックの破損が激減し、処理能力も30%アップした同社従来装置比。エアシリンダーの使用を極力減らし、サーボモーター駆動とすることで大幅な省エネと小型化も実現。チャック部の変更に伴い紙パック飲料以外の製品にも対応が可能だ。

京町産業車輛

京町産業車輛は包装業界に作業の効率化を提案する。同社の「ロール反転リフトシリーズ」は各種フィルム原反などロールの移動、反転を容易にする。ロールを持ち出して搬送し、所定の位置で昇降して機械に装着するまでの作業をスピーディーかつ安全に行える。あらゆるロールの形状、寸法、重量に対応。ロールの保持方法は紙巻、巻き芯の内径を利用する内径チャック式やロール外径を保持する外径チャック式があり、オプションも豊富。昇降方式は手巻きと電動式で、反転方式も手動と電動を用意。大型で重いロールの移動には走行をアシストする電動走行タイプが適する。同社は特殊仕様への対応やデモ依頼にも応じる。

COM[®] WAS型 自動機対応

自動ライン対応型 COM は Communication です
自動帯束機/テーピングマシン

新包装形態へ対応
環境負荷を低減
弁当・惣菜パックなどの簡易包装に最適

様々な自動化に対応可能
省スペース化を実現



振り分け装置付
自動帯束機



WAS250-30-PUSH



大型製品自動帯束機
小間番号: 42-14



ロボット組込み型
自動帯束機

大洋精機株式会社

本社 〒574-0062 大阪府大東市氷野4-3-7
TEL:072-873-3739 FAX:072-875-4324
taiyo@com-machine.co.jp

東京営業所 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-5-12 船山ビル401
TEL:03-5639-9033 FAX:03-5639-9060
taiyoseiki.tky@chorus.ocn.ne.jp

<http://www.com-machine.co.jp>